

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年7月7日

ありがとうございました

強い日差しはなかったですが、蒸し暑い中の加久見川河川清掃が行われました。

昨年度は、川が増水しており清掃活動ができませんでした。草刈りや周辺の安全点検を行い、今年は無事に加久見川の水泳指定場としてオープンできそうです。

保護者の方には、蒸し暑い中の作業となり大変お世話をおかけしました。

また川の中にま

で入り、対岸の草刈りなどをしていただき、本当にありがとうございました。

7月下旬には、土木事務所から川の土砂を掘る作業もしていただけるとの連絡もありました。これから水遊びの本番です。ケガをしないように十分に川遊びを楽しんでください。また夏期休業中は、プール開放も行いますので、予定表をしっかりと見て楽しんでもらえたらと思います。

さて、水泳指定場の準備はできましたが、早く遊びたいと思うのは一部の子ども達だけのようで、多くの子ども達の遊びたいことは、ずいぶん違っているみたいです。

私たちが小さい頃は、暑くなると水浴びに行くといった感じですが、今は涼しい部屋の中で好きなことをして過ごすことが多くなっているようにも思います。子どもからは、「泳ぎに行かないの?」と聞くと、「しんどいもん。」とか「おもしろくないもん。」という返事も返ってくる場合があります。

みなさんは『プール派』、それとも『海水浴派』ですか?海水浴のあとは、乾くと潮でべたつくから海ではなく、川やプールで泳ぐ方がいいという人もいます。『あせも』がでたら海水浴…と言った感じのときもありましたが、一体どのくらいの保護者の方が経験していることでしょうか。

水泳と言えば、私の小学校時代にもプールはありませんでした。出身は窪津小学校です。ご存じの方もいるかも知れませんが、体育の時間に水泳という時間があつたかどうかでも定かではありません。

せん。それでも記憶に残っているのが、2時間続きで学校下の浜に泳ぎに行ったことです。水泳の授業と言うより、『天草採り』と言う学校行事と言った方がいいかもしれません。

今から40年以上も前の話ですが、同時の様子が鮮明に残っています。ゴーグルではなく一眼、腰にはエグリをつけていきます。(もしかしたら言葉が分からない人がいたらすいません。)磯に着くと、先生からの指示を受けて安全に気をつけながら岩から岩へ渡り歩いたりします。天草は波の荒いところに大きいのが付いているので、海に入りながら採ります。ロッカクと言う天草より価値のある海藻を見つけては、楽しんだものでした。

エグリいっぱいになると少しの自由時間ができます。水中生物を観察したり、貝やニナを採って遊びました。

さてエグリいっぱいの天草はどうするのでしょうか。ここからは6年生の仕事です。学校に帰るとさっそく屋上に天草を広げます…そして毎日、朝屋上に広げて干しては、夕方には片付ける作業を1ヶ月以上もかけて繰り返し、乾燥したら、漁協に買い取りをしてもらいます。

天草は、ところてんの材料ですが、学校でところてんを作るではありません。漁協に買い取ってもらったお金を6年生の修学旅行の旅費の補助としていました。

指定場の清掃のお礼からずいぶん話とはびましたが、水泳の授業や水遊びをしたことなどは、時代は違ってもいろいろあるものです。しかしいつも変わらない大切なことは油断をしたり、なめたりすると『命』に関わるような事故や出来事に繋がると言うことです。

しっかりルールを守り楽しく遊べるように気をつけてください。

今日の新聞より

7日の新聞記事『閑人調』の中に、「水じゃとか火じゃとか、骨のないものが怒ったらえらいゆうけんど、ほんまじゃね」と言う体験した方のことばが書かれていました。

その記事の中では、23年前の高知豪雨での様子を取り上げながら、一昨日の静岡県熱海市の土石流被害についても触れられていました。

この記事を読みながら、結びに書かれていたように、難しい判断が迫られる中で、日頃からの自分の避難計画を考えておきたいとつくづく思ったことでしたが、同時に見えない自然災害への恐ろしさも感じたことでした。

土佐清水市では、土石流危険対象地域もあると思いますが、地震・津波についても考えておく必要があります。まさに津波は骨のないもの…起こったら(怒ったら)どうなることかと考えると恐ろしさが先に立ちますが、その時になって困らないように日頃からしっかり考えて行動したいものです。

コロナ感染症、熱中症など気をつけることはたくさんあります。1学期もあと少し、体調には気をつけて生活しましょう。